

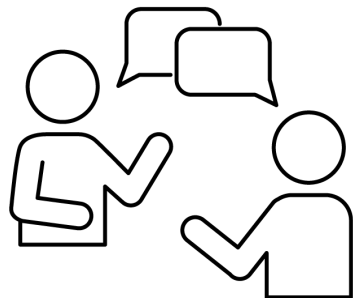


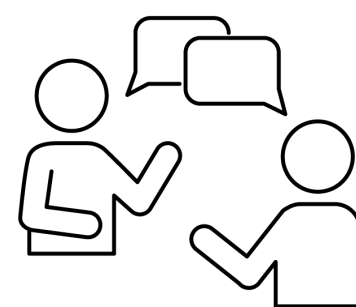
第18回 千葉県地域連携の会

千葉大学とともに、地域連携最前線

～救急医療連携・がんゲノム・予約システム大改革～

18:00～	基調講演「救急医療連携の構築」	
19:00～	千葉大学がん診療update ～NET（内分泌腫瘍）専門診療・がんゲノム医療の充実～	救急医療連携に係るコメディカルの課題 ～精神疾患・身寄りのない方への支援～
19:30～	千葉大学病院診察予約システム改革	
19:45～	【医療DX】 電子カルテ情報共有サービスモデル事業	
20:00～	情報交換会 大鳥精司病院長や副病院長も参加します！ 各診療科の情報もご提供します	





令和7年 2月20日（木）18時～

千葉大学病院 外来診療棟3階 ガーネットホール

少子高齢化が加速し医療需要の高まりが著しい昨今、医療機関の役割分担の明確化や医療の効率化が喫緊の課題となっています。そこで本年は、救急医療やがん診療、DXなど最新の取組をご紹介します。この機会に情報共有を行い、地域連携を強固なものにしていきましょう。ぜひご参加ください！

病院見学も
企画中です

主催：千葉大学医学部附属病院
問合せ：患者支援部（松井裕大）
043-222-7171
chiiki@office.chiba-u.jp

お申し込みはこちら
1/31（金）締切
参加費無料



第18回 千葉県地域連携の会

2025.2.20 (Thu)

17:30 OPEN

18:00-

基調講演 「救急医療連携の構築」

座長：千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学 教授 中田 孝明
講演：千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学 助教 富田 啓介
千葉大学医学部附属病院 患者支援部 副部長 日野 もえ子

限られた地域の救急医療資源を効率的に提供し、持続可能な質の高い救急医療を実現するため、CHIBA e-linkという取組を行っています。その成果と今後の展望を、急性期における医療機能の側面と、受け入れ後の転院調整の側面からそれぞれ発表します。

19:00-

千葉大学がん診療update ～NET専門診療・がんゲノム医療の充実～

講演：千葉大学大学院医学研究院 臨床腫瘍学
講師 大野 泉

当院では、NET（内分泌腫瘍）などをはじめとした希少がん診療やゲノム（遺伝情報）医療といった、臓器横断的ながん対応を行う腫瘍内科を全国に先駆けて確立しています。本会では、がん診療の進歩における代表的なトピックとして、希少がん診療の充実と、ゲノム医療の取組についてご紹介します。

19:30-

千葉大学病院診療予約システム改革

講演：千葉大学大学院 医学研究院 呼吸器内科学
教授 鈴木 拓児

当院では「電話が繋がらない」「受診しづらい」といった課題を解消するため、診療予約システムを導入します。このシステムでは、スマホ/パソコンから診療の予約・変更を行うことができます。また、電話を自動音声対応システムに転送することにより、電話の繋がりにくさを改善します。

19:45-

【医療DX】電子カルテ情報共有サービスモデル事業

講演：千葉大学医学部附属病院 病院長企画室
特任講師 土井 俊祐

国が進める医療DX推進において、令和7年度から「電子カルテ情報共有サービス」の運用が開始されます。当院は、全国で9カ所のモデル地域のうちの1つに選ばれました。同サービスは診療情報提供書や退院時サマリーなどの3文書と、傷病名などの6情報を電子的にやり取りする仕組みで、これにより当院との紹介/逆紹介がどう変化するかをご紹介します。

20:00-

情報交換会

当院病院長の大鳥精司が、ご参加の皆さまから直接ご意見を伺います！軽食と飲み物もご用意しますので、卓を囲みながら、参加者同士の情報交換や当院への意見の場としてご活用ください。

19:00-

救急医療連携に係るコメディカルの課題 ～精神疾患・身寄りのない方への支援～

座長：千葉大学医学部附属病院 患者支援部
副部長 日野 もえ子
千葉大学未来医療教育研究機構
特任助教 清水 啓介

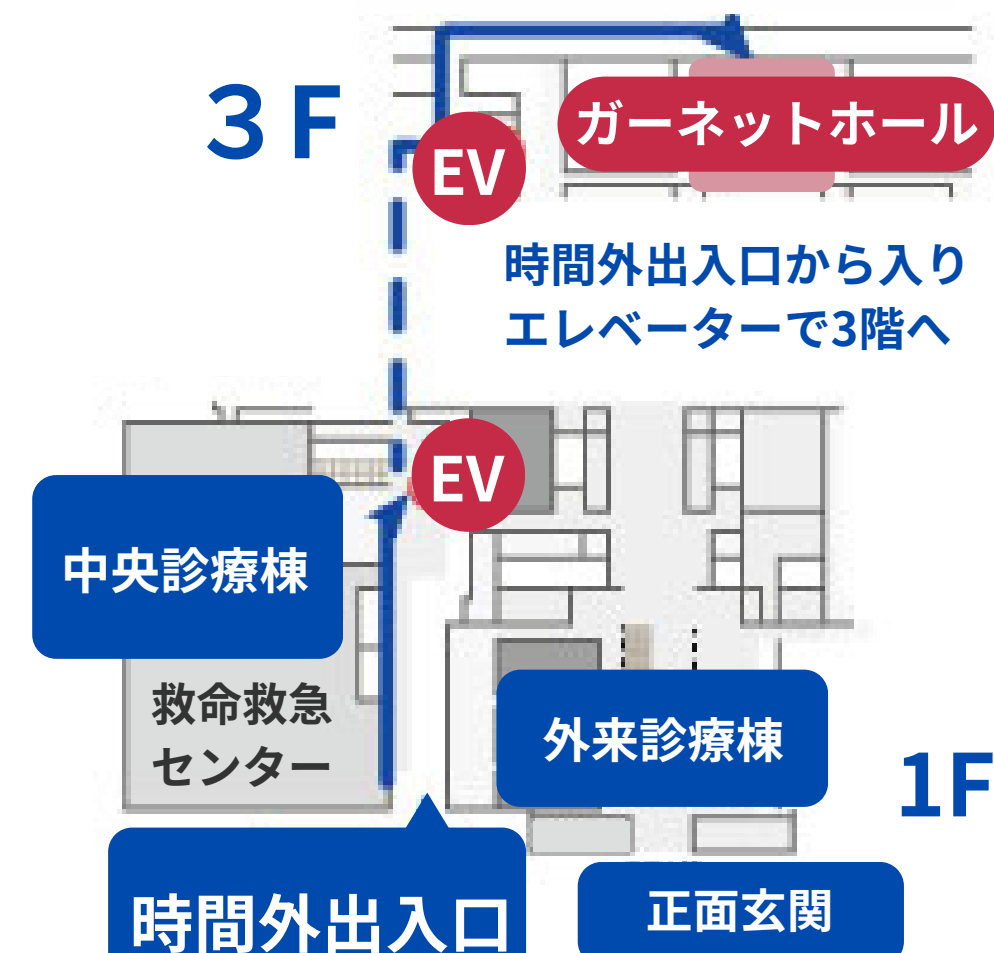
救急医療連携において、精神疾患の方の転院調整や身寄りのない方の支援が大きな課題となっています。コメディカルの視点からどのような支援が必要なのか、事例の紹介を通して考えます。

アクセス



アクセス：JR千葉駅から…
東口正面7番のバス停から「千葉大学病院」
または「千葉大学病院経由南矢作」行きに
乗車、「千葉大学病院」で下車。
（約10分毎、所要時間約15分）

会場アクセス



21:00 CLOSE